

患児の不快を最小限にする看護を頑張っています

Q1 所属する部署の看護の特徴・業務内容を教えてください。

すこやか病棟では重度の脳性麻痺、肢体不自由を患っている患児が多く入院しています。そのため、体位変換、吸引、おむつ交換、清拭など日常生活でのケアをメインに実施しています。さらに、人工呼吸器を装着している患児が多いため、呼吸器のモードやアラーム対応などについて深く学ぶことができると思います。また、長期入所児といって18歳の誕生日を迎えるまで入所可能な患児や、短期入所といって最大1週間お預かりが可能な患児が入所しており個別性に応じた看護ができるところが魅力です。



Q2 所属する部署の雰囲気を教えてください。

すこやか病棟は看護師、介護福祉士、保育士、医師、理学療法士など様々な職種と連携する場面が多くあります。スタッフ全員でご家族の希望も聞きながら患児が楽しく生活できるようにどういった介入ができるかを一緒に考え、四季に合わせたイベントをしたり、2分の1成人式や誕生日会などを実施したりしています。子どもたちが可愛くて、先輩後輩ともに仲が良く笑顔が絶えない明るい病棟だと思います。



Q3 当院で働いていて良かったなと思うことは何か教えてください。

急性期の病棟では入退院が頻回でありなかなか患者さんとの信頼関係を構築したり、寄り添った看護をしたりしていくのが困難なこともあると思います。しかし、すこやかでは長期入所児がおり長い期間患児と関わることができます。言葉が話せなくても心拍上昇などの非言語的コミュニケーションから患児のニーズを読み取り不快要因を軽減できた時はやりがいを感じます。患児の不快要因を最小限にする看護といった私の看護観が生まれたのもすこやかで働かせていただいたからだと思います。